

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：北里大学保健衛生専門学院 看護専門課程 保健看護科〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	時間数	必修・ 選択等	科目 区分
1 情報通信技術 (ICT)	SEの経験をふまえ、実際のシステムでの応用例なども含め、コンピューターの活用について教授する。	秋葉 広人	秋葉 広人 ※	1	後期	1 単位	30 時間	必修	講義
2 生命倫理学	看護師の臨床経験および移植コーディネーターの経験をふまえ生命倫理について教授する。	河野 優子	河野 優子 ※	1	後期	1 単位	15 時間	必修	講義
3 心理学	臨床経験を踏まえ、人のこころの基本的な仕組みについて教授する。	大坪 純子	大坪 純子 ※	1	前期	1 単位	15 時間	必修	講義
4 対人関係論	臨床経験をふまえ対人関係に関わる理論と技法を教授する。	大坪 純子	大坪 純子 ※	1	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
5 法と暮らし	弁護士の経験を踏まえ、法と暮らしの結びつきについて概説する。	増井 喜久士	増井 喜久士 ※	1	前期	1 単位	15 時間	必修	講義
6 国際交流論	自身の国際交流・国際支援活動の経験を踏まえて教授・ファンリテートする。	小林 房代	小林 房代 ※	1	後期	1 単位	15 時間	必修	講義
7 生涯発達論Ⅰ	看護職としての臨床経験をふまえて発達について概説する。	明地 由紀子	明地 由紀子 ※ 櫻井 照美 ※ 野上 聡子 ※	1	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
8 生涯発達論Ⅱ	看護師として成人期・老年期の対象に関わってきた経験をふまえて発達について概説する。	木竜 理恵子	木竜 理恵子 ※ 佐藤 純子 ※	1	後期	1 単位	30 時間	必修	講義
9 看護形態機能学Ⅰ	看護師の実務経験をふまえて恒常性維持のための形態機能について教授する。	木竜 理恵子	木竜 理恵子 ※	1	前期	2 単位	30 時間	必修	講義
10 看護形態機能学Ⅱ	看護師の臨床経験をふまえて基本的な生活行動における形態機能について教授する。	野上 聡子	野上 聡子 ※ 小林 大輔 ※	1	前期	2 単位	30 時間	必修	講義
11 看護形態機能学Ⅲ	看護職の臨床経験をふまえて基本的な生活行動における形態機能について教授する。	野上 聡子	野上 聡子 ※ 明地 由紀子 ※	1	後期	2 単位	30 時間	必修	講義
12 病態生理学	臨床経験を踏まえ、病気の原因や発生メカニズムと人体の形態機能への影響について概説する。	小池 敦	小池 敦 ※	1	後期	1 単位	30 時間	必修	講義
13 感染症学	日本環境感染学会評議員ICDとして活動中。臨床経験を踏まえ、真菌、細菌およびウイルスに関して、取扱い、感染予防および感染時対処方法に関する幅広い知識に基づき教授する。	小林 憲忠	小林 憲忠 ※	1	後期	1 単位	30 時間	必修	講義
14 栄養生化学	管理栄養士として、訪問栄養、高齢者福祉など、食からの健康管理業務に携わっている経験を踏まえ、適切な看護援助を行うために必要な栄養学の基本的知識を教授する。	千喜良 たまき	千喜良 たまき ※	1	後期	1 単位	30 時間	必修	講義
15 疾病・治療各論Ⅰ	看護師としての実務経験をふまえて形態機能ごとの代表的な疾患と治療について教授する。	小林 伸子	小林 伸子 ※	1	後期	2 単位	30 時間	必修	講義
16 疾病・治療各論Ⅱ	看護師としての実務経験をふまえて形態機能ごとの代表的な疾患と治療について教授する。	小林 大輔	小林 大輔 ※ 小林 伸子 ※	2	前期	2 単位	30 時間	必修	講義

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：北里大学保健衛生専門学院 看護専門課程 保健看護科〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	時間数	必修・ 選択等	科目 区分
17 地域共生・包括ケアシステム論	保健師の実務経験をふまえて地域共生社会・地域包括ケアシステムについて概説する。	佐藤 美恵子	佐藤 美恵子 ※	2	前期	2 単位	30 時間	必修	講義
18 健康政策形成演習	保健師の実務経験をふまえて健康政策の策定・評価について实际的に教授する。	佐藤 美恵子	佐藤 美恵子 ※	3	後期	1 単位	30 時間	必修	演習

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：北里大学保健衛生専門学院 看護専門課程 保健看護科〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	時間数	必修・ 選択等	科目 区分
19 保健統計・疫学演習	保健師としての実務経験をふまえて「保健統計・疫学」の知識の活用について教授する。	原澤 由美子	原澤 由美子 ※	3	通年	2 単位	60 時間	必修	演習
20 看護学概論	臨床経験をもとに、看護の本質及び看護の対象である人間・健康・環境・生活について教授する。	岡本 亜希	岡本 亜希 ※	1	前期	2 単位	30 時間	必修	講義
21 看護共通技術	臨床経験をふまえて看護に共通する技術の意義・方法・根拠を教授する。	鹿島 ゆかり	鹿島 ゆかり ※ 岡本 亜希 ※	1	前期	2 単位	60 時間	必修	講義
22 日常生活援助技術	臨床経験をふまえて日常生活援助技術の意義・方法・根拠について教授する。	鹿島 ゆかり	鹿島 ゆかり ※ 岡本 亜希 ※	1	前期	2 単位	60 時間	必修	講義
23 診療補助技術	臨床経験をふまえて診療の補助技術の目的・方法・根拠について教授する。	南雲 陽子	南雲 陽子 ※	2	通年	2 単位	60 時間	必修	講義
24 ヘルスアセスメント方法論Ⅰ	集中ケア認定看護師としての実務経験をふまえてヘルスアセスメントを教授する。	小林 大輔	小林 大輔 ※	1	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
25 ヘルスアセスメント方法論Ⅱ	看護師としての臨床経験をふまえてヘルスアセスメントを教授する。	小林 大輔	小林 大輔 ※ 鹿島 ゆかり ※	1	後期	1 単位	30 時間	必修	講義
26 看護展開論Ⅰ	臨床経験をふまえて看護過程の基本的な考え方を教授する。	岡本 亜希	岡本 亜希 ※	1	後期	1 単位	30 時間	必修	講義
27 看護展開論Ⅱ	臨床経験をふまえて看護過程の展開方法について教授する。	岡本 亜希	岡本 亜希 ※	2	前期	1 単位	30 時間	必修	演習
28 家族看護学	訪問看護師として様々な家族とかわかってきた経験をふまえて、家族看護について概説する。	木田 洋子	木田 洋子 ※	1	後期	1 単位	30 時間	必修	講義
29 ターミナルケア論	臨床経験をふまえてターミナル期にある対象の看護について教授する。	小林 伸子	小林 伸子 ※	3	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
30 医療安全	看護師としての臨床経験と臨床工学技士の知見をふまえて、医療安全について概説する。	南雲 陽子	南雲 陽子 ※	3	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
31 公衆衛生看護学総論	保健師の実務経験をふまえて公衆衛生看護定義と活動について概説する。	三宅 久枝	三宅 久枝 ※	2	前期	2 単位	30 時間	必修	講義
32 公衆衛生看護学各論	保健師の実務経験をふまえて公衆衛生看護活動について教授する。	三宅 久枝	三宅 久枝 ※	2	後期	2 単位	60 時間	必修	講義
33 グループ・組織支援方法論	保健師の実務経験をふまえてグループ・組織支援の基本的知識を教授する。	池田 由貴	池田 由貴 ※	2	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
34 グループ支援演習	保健師の実務経験をふまえてグループ・組織支援の考え方や方法を演習を通して教授する。	池田 由貴	池田 由貴 ※	2	後期	1 単位	30 時間	必修	演習
35 地域/コミュニティ・アセスメント技術論	保健師の実務経験をふまえて地域/コミュニティ・アセスメントについて教授する。	原澤 由美子	原澤 由美子 ※	3	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
36 地域/コミュニティ・アセスメント演習	保健師の実務経験をふまえて地域/コミュニティ・アセスメントを実際的に教授する。	原澤 由美子	原澤 由美子 ※	3	後期	1 単位	30 時間	必修	演習

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：北里大学保健衛生専門学院 看護専門課程 保健看護科〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	時間数	必修・ 選択等	科目 区分
37 ハイリスク事例支援論	保健師の実務経験をふまえてハイリスク事例へのアプローチについて概説する。	池田 由貴	池田 由貴 ※	3	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
38 ハイリスク事例支援演習	保健師の実務経験をふまえてハイリスク事例へのアプローチについて演習を通して教授する。	池田 由貴	池田 由貴 ※	3	前期	1 単位	30 時間	必修	演習
39 健康危機管理論	保健師の実務経験をふまえて健康危機管理について概説する。	篠田 浩子	篠田 浩子 ※	3	前期	2 単位	30 時間	必修	講義
40 公衆衛生看護管理論	保健師の実務経験をふまえて公衆衛生看護管理について教授する。	篠田 浩子	篠田 浩子 ※	3	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
41 健康危機管理・公衆衛生看護管理演習	保健師の実務経験をふまえて健康危機管理・公衆衛生看護管理について教授する。	篠田 浩子	篠田 浩子 ※	3	後期	1 単位	30 時間	必修	演習
42 PDCA展開論	保健師の実務経験をふまえてPDCA展開の基礎を教授する。	佐藤 美恵子	佐藤 美恵子 ※	4	前期	2 単位	60 時間	必修	演習
43 成人看護学総論	臨床経験をふまえて、成人期にある対象の看護について教授する。	木竜 理恵子	木竜 理恵子 ※	1	後期	1 単位	15 時間	必修	講義
44 クリティカルケア看護	集中ケア認定看護師としての臨床経験をふまえて、クリティカルケアを必要とする対象および家族への看護について教授する。	小林 大輔	小林 大輔 ※	3	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
45 周術期看護	周術期看護の臨床経験をふまえて、クリティカルケアを必要とする対象および家族への看護について教授する。	山本 恵美子	山本 恵美子 ※	3	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
46 セルフマネジメント支援論	臨床経験をふまえて、セルフマネジメント支援について教授する。	木竜 理恵子	木竜 理恵子 ※	2	後期	1 単位	30 時間	必修	講義
47 老年看護学総論	高齢者看護の臨床経験を踏まえ、老年看護について概説する。	佐藤 純子	佐藤 純子 ※	2	前期	2 単位	30 時間	必修	講義
48 疾患・症状別看護Ⅰ	がんを患う対象と家族および呼吸・循環に障害をもつ対象と家族に対する看護について、臨床での経験をふまえて教授する。	山本 恵美子	山本 恵美子 ※	2	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
49 疾患・症状別看護Ⅱ	消化・吸収・代謝に関わる疾患・症状をもつ対象の看護および排泄障害をもつ対象の看護について、臨床での経験をふまえて教授する。	佐藤 純子	佐藤 純子 ※	2	後期	1 単位	30 時間	必修	講義
50 疾患・症状別看護Ⅲ	脳血管疾患、神経損傷、運動器疾患をもつ対象の看護について、臨床経験をふまえて教授する。	山本 恵美子	山本 恵美子 ※	2	後期	1 単位	30 時間	必修	講義
51 母子看護学概論	看護師・養護教諭としての経験をふまえて母子看護について概説する。	山口 貴子	山口 貴子 ※	2	前期	2 単位	30 時間	必修	講義
52 小児看護学援助論	臨床経験をふまえて、小児看護について教授する。	山口 貴子	山口 貴子 ※ 大谷 尚也 ※	2	後期	1 単位	30 時間	必修	講義
53 小児看護展開論	看護師・養護教諭としての経験をふまえて、小児看護過程を教授する。	山口 貴子	山口 貴子 ※	3	前期	1 単位	15 時間	必修	演習

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：北里大学保健衛生専門学院 看護専門課程 保健看護科〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	時間数	必修・ 選択等	科目 区分
54 リプロダクティブヘルスケア論	助産師としての経験をふまえ、リプロダクティブヘルスケアについて概説する。	明地 由紀子	明地 由紀子 ※	2	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
55 周産期看護学援助論	助産師としての経験をふまえ、周産期看護について概説する。	明地 由紀子	明地 由紀子 ※	2	後期	1 単位	30 時間	必修	講義
56 周産期看護展開論	助産師としての経験をふまえて周産期看護過程を教授する。	明地 由紀子	明地 由紀子 ※	3	前期	1 単位	15 時間	必修	演習
57 精神看護学総論	病院での経験を踏まえて精神看護について概説する。	南雲 陽子	南雲 陽子 ※	1	後期	2 単位	30 時間	必修	講義
58 チーム医療論	実務経験を踏まえ、基本的知識を押さえたうえで多職種を目指す学生同士がチームになり事例検討を進める演習をファシリテートする。	霜垣 美由紀	霜垣 美由紀 ※ 南雲 陽子 ※	4	前期	1 単位	30 時間	必修	演習
59 看護マネジメント論	臨床現場での経験をふまえ、看護管理の基本や重要性を教授する。	霜垣 美由紀	霜垣 美由紀 ※	4	前期	1 単位	30 時間	必修	講義
60 看護マネジメント実践演習	臨床現場での経験をふまえ、看護実践現場における看護マネジメントを演習を通して教授する。	霜垣 美由紀	霜垣 美由紀 ※	4	前期	1 単位	30 時間	必修	演習
61 看護倫理	看護師としての臨床現場での経験をふまえ、看護倫理の基本や重要性を教授する。	野上 聡子	野上 聡子 ※ 霜垣 美由紀 ※	4	後期	1 単位	30 時間	必修	講義
62 国際看護学総論	自身の国際交流・国際支援活動の経験を踏まえて、国際看護について教授する。	小林 房代	小林 房代 ※	3	前期	1 単位	15 時間	必修	講義
63 看護研究	臨床での経験を踏まえ、研究の意義、研究の方法、研究倫理など、研究を実施するための基礎的知識について概説する。	渡辺 しき子	渡辺 しき子 ※	4	後期	1 単位	30 時間	必修	講義
64 情報処理の基礎	SEの経験を踏まえ、コンピューターの基本的操作を教授する。	秋葉 広人	秋葉 広人 ※	1	前期	1 単位	15 時間	選択	講義
合計						82 単位	1,965 時間		

行は適宜追加してください。
シラバスの関連項目と記載を一致させてください。